

下水道事業会計決算

**1億5069万円の
単年度損失**

平成23年度の収入は11億3987万円、支出は12億9056万円、差し引き1億5069万円の損失となりました。

これは、下水道事業が建設途中で、普及率の上昇により使用料収入は増加しているものの、新設の下水道工事による、支払利息や減価償却費などの費用が増加しているためです。

市内には、まだ下水道が整備されていない地区が多くあり、これからも多額の事業費が必要となります。そのため、今後も経営の安定と健全化に努めていきます。

水洗化にご協力ください

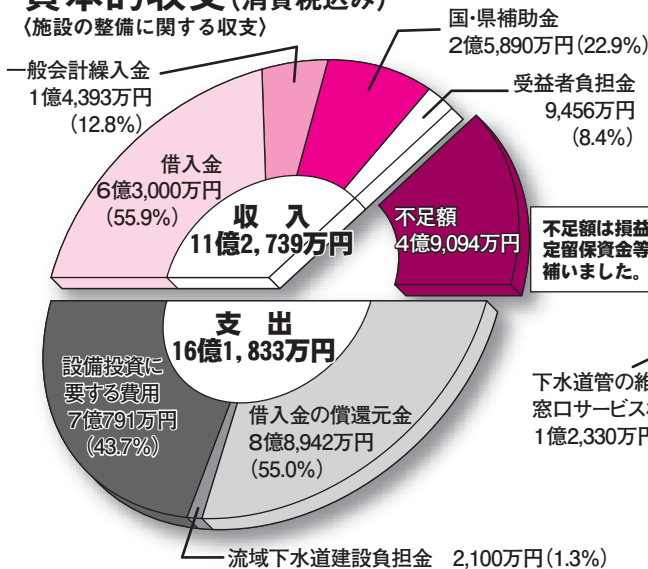
下水道施設の建設や維持管理の費用の一部は、下水道使用料や受益者負担金などで賄われています。

下水道を整備すると、トイレの水洗化が進み、また家庭などからの汚水は処理場で浄化し放流するため、川や海などがきれいになります。

環境を守り、快適な暮らしを実現するために、地域ぐるみで水洗化を進めましょう。

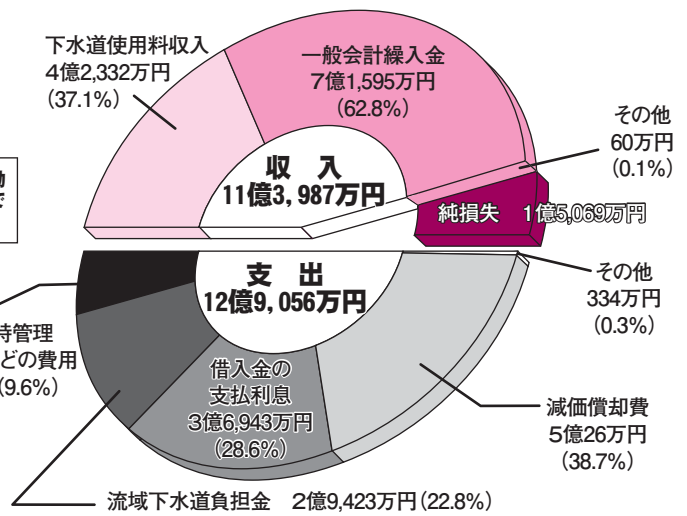
資本的収支(消費税込み)

(施設の整備に関する収支)



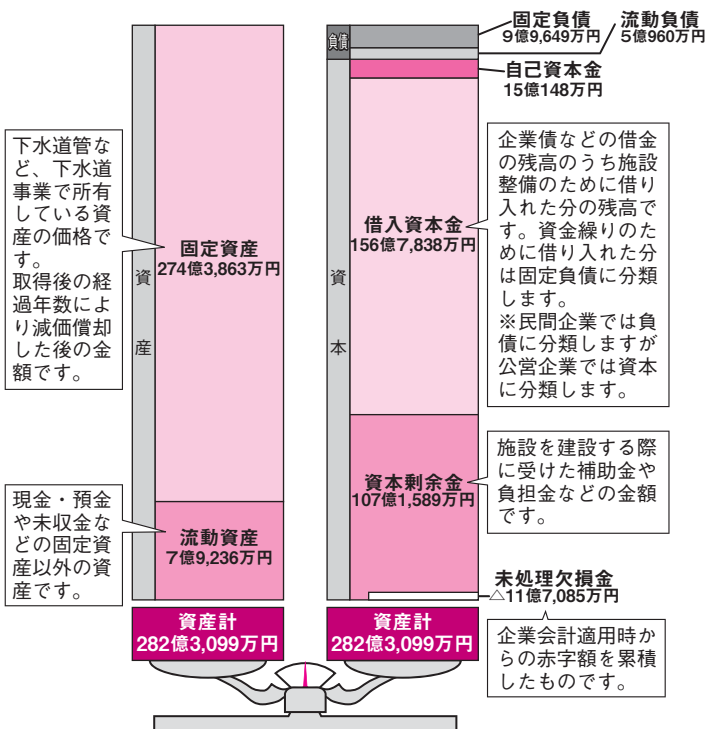
収益的収支(消費税抜き)

(事業の運営に関する収支)



平成23年度 大館市下水道事業貸借対照表

(平成24年3月31日現在)



平成23年度に整備した地区

- 大館地域** 御成町、有浦、中道、根下戸新町などの一部
- 比内地域** 味噌内の一部
- 田代地域** 茂屋の一部

新たに下水道が使えるようになった面積………44.9ha

処理状況

行政区域内人口	79,163人
処理区域内人口	35,949人
普及率	45.4%
水洗化人口	27,523人
水洗化率	76.6%
年間処理水量	2,651,318 ^m ₃
年間有収水量	2,493,146 ^m ₃
有収率	94.0%